

濟屈御省務内

自大正八年冬至
大正九年庚申年
至大正十年小寒

大道教

神宮寺菊之助著

五ヶ國
曆對照

九星目割かし

（りけりな誠の心の人そこふなかほ心の神のわくに目）御神

▲國々に因る日の出入時間晝夜の長短氣候等委しくは神部署頒行曆にて知るべし

大二三五七八十二

四方拜 一月一日

元始祭 一月三日

新年宴會 一月五日

紀元節 二月十二日

春季皇靈祭 三月十二日

神武天皇祭 四月三日

神武天皇御即位

紀元三千五百八十年

曆一千九百廿年

明治天皇祭 七月三十日

天皇節 八月十一日

秋季皇靈祭 九月十三日

神嘗祭 十月十五日

天皇節祝日 十月二十日

新嘗祭 十一月廿三日

小二四六九十一

甲子		庚申		八		九	
一月七日	三月七日	五月六日	七月五日	九月三日	十一月二日	一月三日	三月三日
五月六日	七月五日	九月三日	十一月二日	一月三日	三月三日	五月二日	七月一日
九月三日	十一月二日	一月三日	三月三日	五月二日	七月一日	八月三十日	十月廿九日
十一月二日	一月三日	三月三日	五月二日	七月一日	八月三十日	十月廿九日	十二月廿八日
一月三日	三月三日	五月二日	七月一日	八月三十日	十月廿九日	十二月廿八日	二月廿四日
三月三日	五月二日	七月一日	八月三十日	十月廿九日	十二月廿八日	二月廿四日	四月四日
五月二日	七月一日	八月三十日	十月廿九日	十二月廿八日	二月廿四日	四月四日	六月廿三日
七月一日	八月三十日	十月廿九日	十二月廿八日	二月廿四日	四月四日	六月廿三日	八月廿二日
八月三十日	十月廿九日	十二月廿八日	二月廿四日	四月四日	六月廿三日	八月廿二日	十月廿一日
十月廿九日	十二月廿八日	二月廿四日	四月四日	六月廿三日	八月廿二日	十月廿一日	十二月二十日

六輝の吉凶解

但し九星の吉凶は各月の欄外にあり

先勝

は神道にては國常立尊是に當り一月七月の主たり方位は午未申酉戌亥吉方此日出産には南南吉

友引

は神道にて國狹穗尊是に當り二月八月の主たり方位は子の方吉方此日出産には南南吉

先負

は神道にて豊斟尊是に當り三月九月の主たり方位は寅卯辰吉方此日出産には南南大吉卯辰向半吉種壽は午前中吉

佛滅

は神道にて牟婁諸册尊是に當り四月十月の主たり方位は寅卯辰巳午吉方此日出産には南南大吉辰巳午吉

大安

は神道にて天照太神之に當り五月十一月の主たり方位は子の方大吉未申酉戌亥少し吉方此日出産には南南吉種壽は午後一時よりよし

赤口

は神道にて八坂太神是に當り六月十二月の主たり此日出産には南南吉亦午前中東午後酉向半吉此日種を踏くべからず見込の半分になる

七曜日

1 日

2 月

3 火

4 水

5 木

6 金

7 土

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

此の方に向ひて萬よし
但し木をきらず

八十八夜
二百十日

五月二日

此の方あしき方なり
俗に大金神と云ふ

節分二月四日

此の方に向ひて
さんをせす

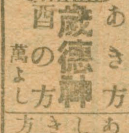
午○時十分

此の方に南ひてわたま
しせず舟のり始めす

夏至 六月廿二日

此の方に向ひて
たねまかす

入梅 六月十三日



五黃殺未申の方
暗劍殺丑寅の方
大金神辰 巳

此の方に向ひて
よめとらす

此の方に向ひて
弓はじめよし

此の方に向ひて大小便
せすちくるいもさめす

彼岸
三月十八日
九月廿日

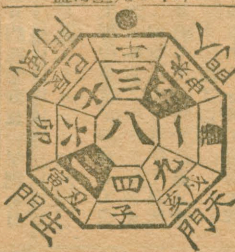
社
日
三月廿一日
九月十八日

—

方位の吉凶並に
神立を知るも十
干は加へるに
多し是は一を知
て二は知らざる
ものなり十干を
天の方位と立
支て地の方位と
なり十干を知る
る方位圖に誤
謬多し注意あれ



本九年星轉盤



▲夜間の長き時は十二月十九日より廿五六日頃の中と知るべし

潮の満干豫測表但し此時間より引始め六時間後は干汐と知らるべし

一	二六〇	前六時四十八分頃
二	二七〇	全七時三十六分頃
三	二八〇	全八時二十四分頃
四	二九〇	全九時十二分頃
五	三〇〇	全十時
六	三一〇	全十時四十八分頃
七	三二〇	全十一時卅六分頃
八	三三〇	全十二時廿四分頃

九	三四〇	全一時十二分頃
一〇	三五〇	全二時
一一	三六〇	全三時四十八分頃
一二	三七〇	全四時三十六分頃
一三	三八〇	全五時二十四分頃
一四	三九〇	全六時
一五	四〇〇	全六時四十八分頃

注意：潮の満干は地盤に因り約四十分位の早遅あり

潮は晝夜満干共に二回つゝありて各六時間を要するものさ知らるべし

◆本書發行の趣意及目的は學術研究資料の一◆

◎世界に於て始めて曆の生れたのは神武紀元の前一千九百七十九年に支那の黄帝が創刊して黄經三百六十度と爲し是を七十二候に分けて雜節を操出し曆に掲げたるを以て現今支那及土耳其は用ひて居る其他回々教徒の深く信するものなるも寛政九年に御改正あり其年十月天皇に奏し奉り名を寛政曆と賜はりしも三年に一、五年に二、の閏月ありて一年十二月と三月ある缺陥を不便として明治五年を以て是を廢し明治六年曆より太陽曆と改む

◎グレゴリオ曆(太陽曆)は羅馬國統世官ジュリアスシーザアの創始後數十年を経て羅馬大帝ガイガスタスシーザアの改正したるユリウス曆の缺陥を改めて寒暑推移の状態を豫知せしむるは勿論なるも日の運行を標準とし朔望を明かにし農業の耕種及び收穫又は漁業等の便

を計り我國にては月齡を配當せり、現今英國及びスエデン國又グレゴリオ曆を採用し國家社會の整理上一日も缺く可からざるは現今の太陽曆是なり

以上三曆の外我國は紀元前に天之宇津比賣命曆法を作る即ち神代曆是なり

◎今や曆の改正は全世界の問題にして瑞西政府は第四回萬國商法會議に曆の改正案提出さる近く米國マサチュセツト氏第五回萬國商法會議に際し曆の改正の決議あり亦羅馬法王も曆改正の意を全世界に向て發表せり

如斯グレゴリオ曆(現今太陽曆)の改正を唱ふるに至ては決して萬代不易完全無缺と謂ふを得ざるは勿論なるも吾人は日進月歩の現今に於て無責任の九星早見亦是本曆類似の俗に御化曆などに迷ひ居る場合にあらす

畏も明治天皇御詔あらせられたる(天地自然の公道に從ふべし)御誠心に叶ふ可く我國體に違ひ無き曆を發見して神國たる事を世界に顯彰するは實に急務中の急なる事を知らるべし曆は士農工商の區別なく一日も缺く可からざるは吾人の知る處なり殊に國家社會の爲めに努むる各宗教家の中心と爲すべきなり

◎羅馬國の有名なるアレキサノアト嬢は全世界の宗教の起源を研究し其布教者に向て宗教者は曆を中心として自他の身を和合さす事を明言して歸國せり

◎英國のゴリトン男は四海は一家なり曆は宗教者の土臺なり柱なり是なほなれて宗教なしと論じ全世界の宗教家に發言せり

◎是より大正八年冬至より大正十年大寒まで斯道の學理研究の爲め皇祖天照大神の詔を拜受し神代に天之宇津女命の曆法に因つて茲に廿有余年問予の研究せし曆學を應用し三曆日を記入し對照すべし若

し吾人の學術研究の參考となれば幸甚但し何れも畧曆と知べし
 寒暑經緯度日月の運行出入時間等委しくは我帝國大學に於て編輯し
 伊勢神部署より發行の本曆を求め知らるべし

注意

以下記入する對照曆日は上段を我國の神代曆、次にユリウス曆、次にグレゴリオス曆、次に支那曆、次に九星、六輝、廿八宿、雜考欄とす(神代曆は研究中)

發見一年猶太學用

日、英、スエデン採用

土耳古採用

陰陽學者採用

神代曆

ユリウス曆

羅馬曆(太陽曆)

支那曆

九星六輝

土真六宿

十七鳥

十

廿三日つるさう

二己酉

一白赤口

女五相傳

十八獸

十一

廿四日りのとろ

三庚戌

二黑先勝

虛

十九甲

十二

廿五日りのとろ

四辛亥

三碧友引

危

二十貝

十三

廿六日とのね

五壬子

四綠先負

室

廿一草

十四

廿七日とのとろ

六癸丑

五黃佛滅

壁

廿二木

十五

廿八日きのとろ

七甲寅

六白大安

奎

廿三虫

十六

廿九日きのとろ

八乙卯

七赤赤口

婁

廿四魚

十七

三十日ひのとろ

九丙辰

八白先勝

胃

廿五鳥

十八

卅一日ひのと

十丁巳

九紫友引

昂

○ 一月 吉凶「丙子の月」各星對照表（七日より）
 （三碧中宮）

神代曆		ユリウス曆		グレゴリガ太陽曆		支那の曆		九星六輝士眞八宿		備考	
廿六	獸	十九	五	一	日つちのうま	十一	戌午	一白	先負	やぶる	畢
廿七	甲	二十	六	二	日つちのこひ	十二	己未	二黒	佛滅	あやう	觜
廿八	貝	廿一	七	三	日りのささ	十三	庚申	三碧	大安	なる	參
廿九	草	廿二	一	四	日りととり	十四	辛酉	四緑	赤口	おさむ	井
三十	木	廿三	二	五	日とのいぬ	十五	壬戌	五黄	先勝	ひらく	鬼
三十一	虫	廿四	三	六	日とのあ	十六	癸亥	六白	友引	とつ	柳
鵲は巢を作る、農家は小麦、小麦、茶、孟宗竹の肥培をなす											
二	魚	廿五	四	七	日さのへね	十七	甲子	七赤	先負	たつ	星
三	鳥	廿六	五	八	日さのこひ	十八	乙丑	八白	佛滅	のぞく	張
四	獸	廿七	六	九	日ひのへとら	十九	丙寅	九紫	大安	みつ	翼
五	甲	廿八	七	十	日ひのとら	二十	丁卯	一白	赤口	たいら	軫
六	貝	廿九	一	十一	日つちのへとら	廿一	戊辰	二黒	先勝	さだむ	角
七	草	卅	二	十二	日つちのこひ	廿二	己巳	三碧	友引	さる	亢
八	木	卅一	三	十三	日りのへとら	廿三	庚午	四緑	先負	やぶる	氐
九	虫	一	四	十四	日とのこひ	廿四	辛未	五黄	佛滅	あやう	房
天火日											
天社日											
三りん亡											
五相傳											
日よう											
天おん											
母倉											
日よう											
萬よし											
かん入											

二日の差

▲一白水星を犯すと水氣、はれ目、眼腫を患ふ

▲二黒土星を犯すと腹部を患ふ

早梅は花を開くも梅の接木松の手入れによし

十魚	二五	十五日	壬のさる	廿五	壬申	六白	大安	なる	心	母倉
十一鳥	三六	十六日	とろとろ	廿六	癸酉	七赤	赤口	なむ	尾	
十二獸	四七	十七日	さめいね	廿七	甲戌	八白	先勝	ひらく	箕	
十三甲	五一	十八日	さめとろ	廿八	乙亥	九紫	友引	さつ	斗	土用入 〔日よう〕
十四貝	六二	十九日	ひのけね	廿九	丙子	一白	先負	たつ	女	
十五草	七三	二十日	ひのとじ	三十	丁丑	二黒	佛滅	のぞく	虚	
十六木	八四	廿一日	つちのうら	十一	戊寅	三碧	赤口	のぞく	虚	大かん
十七虫	九五	廿二日	つちとう	二	己卯	四緑	先勝	みつ	危	
十八魚	十六	廿三日	くのへら	三	庚辰	五黄	友引	たいら	室	地火日
十九鳥	十七	廿四日	りとこ	四	辛巳	六白	先負	さだむ	壁	
二十獸	十二	廿五日	ミのくま	五	壬午	七赤	佛滅	さる	奎	三りん亡 母倉
廿一甲	十三	廿六日	ミのさひら	六	癸未	八白	大安	やぶる	婁	不成就日
廿二貝	十四	廿七日	きのさろ	七	甲申	九紫	赤口	あやう	胃	十方くれ
廿三草	十五	廿八日	きぬとろ	八	乙酉	一白	先勝	なる	昂	
廿四木	十六	廿九日	ひのけね	九	丙戌	二黒	友引	おさむ	畢	五相傳
廿五虫	十七	三十日	ひのとあ	十	丁亥	三碧	先負	ひらく	觜	
廿六魚	十八	卅一日	ミのくね	十一	戊子	四緑	佛滅	さつ	參	

五日より
二黒中宮

▲三碧木星を犯すと手足の病を患ふ

▲六白金星を犯すと頭の病を患ふ

九具	一	二	十五	日	三	廿五	壬	申	三	碧	先	勝	やぶる	女	地	福
十草	二	三	十六	日	三	廿六	癸	酉	四	緑	友	引	あやう	虚		
十一木	三	四	十七	日	三	廿七	甲	戌	五	黄	先	負	かゝる	危		
十二虫	四	五	十八	日	三	廿八	乙	亥	六	白	佛	滅	おさむ	室		
十三魚	五	六	十九	日	三	廿九	丙	子	七	赤	大	安	ひらく	壁		
十四鳥	六	七	二十	日	三	三十	丁	丑	八	白	友	引	ひらく	妻		
十五獸	七	八	廿一	日	三	十一	戊	寅	九	紫	先	負	さつ	妻		

農家は稻、粟、午、勞、新、菊、棉、小豆、南瓜、冬瓜、大根、早玉、葱根おろしにけし

十六甲	八	二	廿二	日	三	三	己	卯	一	白	佛	滅	たつ	胃	社	
十七貝	九	三	廿三	日	三	四	庚	辰	二	黒	大	安	のぞく	昂	萬	
十八草	十	四	廿四	日	三	五	辛	巳	三	碧	赤	口	みつ	畢	地	
十九木	十一	五	廿五	日	三	六	壬	午	四	緑	先	勝	たいら	觜	火	
廿虫	十二	六	廿六	日	三	七	癸	未	五	黄	友	引	さだむ	參	地	
廿一魚	十三	七	廿七	日	三	八	甲	申	六	白	先	負	さる	井	十	
廿二鳥	十四	一	廿八	日	三	九	乙	酉	七	赤	佛	滅	やぶる	鬼	五	
廿三獸	十五	二	廿九	日	三	十	丙	戌	八	白	大	安	あやう	柳	吉	
廿四甲	十六	三	三十	日	三	十一	丁	亥	九	紫	赤	口	なる	星	祥	
廿五貝	十七	四	卅一	日	三	十二	戊	子	一	白	先	勝	おさむ	張	母	

●四月吉凶「己卯の月」各星對照表（五日より九紫中宮）

神代曆	ユリウス曆	グリゴリオ太陽曆	支那曆	九星六輝	十二真宿	備考
廿六 草十八	5	一 日つちとこし	十三 己丑	二 黒友引	ひらく翼	三りん亡
廿七 木十九	6	二 日りのとら	十四 庚寅	三 碧先負	とつ軫	天火日
廿八 虫二十	7	三 日りのとら	十五 辛卯	四 緑佛滅	たつ角	日よう
廿九 魚廿一	1	四 日りのとら	十六 壬辰	五 黄大安	のぞく亢	天一天上
卅 鳥廿二	2	五 日りのとら	十七 癸巳	六 白赤口	みつ氏	

梅、海棠、柳、柘榴、撫子植替、彼岸櫻、青柳の新芽に樂む

三 一 獸廿三	3	六 日さめへうま	十八 甲午	七 赤先勝	たいら房	萬よし
二 甲廿四	4	七 日さめへうま	十九 乙未	八 白友引	さだむ心	月徳日
三 貝廿五	5	八 日ひのとら	二十 丙申	九 紫先負	とる尾	
四 草廿六	6	九 日ひのとら	廿一 丁酉	一 白佛滅	やぶる箕	吉祥日
五 木廿七	7	十 日つちとこし	廿二 戊戌	二 黒大安	あやう斗	日よう
六 虫廿八	1	十一 日つちとこし	廿三 己亥	三 碧赤口	なる女	母倉
七 魚廿九	2	十二 日りのとら	廿四 庚子	四 緑先勝	おさむ虚	
八 鳥卅	3	十三 日りのとら	廿五 辛丑	五 黄友引	ひらく危	
九 獸一	4	十四 日りのとら	廿六 壬寅	六 白先負	とつ室	三りん亡

▲七赤金星を犯すと口中の病を患ふ

▲八白土星を犯すと脚氣腫脹腰痛み足の病を患ふ

十甲	二五	十五日	とつとつ	廿七	癸卯	七赤	佛滅	たつ	壁	天火日
十一貝	三六	十六日	さあへん	廿八	甲辰	八白	大安	のぞく	奎	大明
十二草	四七	十七日	さあへん	廿九	乙巳	九紫	赤口	みつ	婁	土用入
十三木	五一	十八日	ひのくま	卅	丙午	一白	先勝	たいら	胃	日よう
十四虫	六二	十九日	ひのくま	三一	丁未	二黒	先負	たいら	胃	不成就日
十五魚	七三	二十日	つちさる	二	戊申	三碧	佛滅	さだむ	昂	天福日
農家は大豆、黍、稗、胡麻、西瓜、眞桑瓜、豌豆、里芋の培養に忙し										
十六鳥	八四	廿一日	つちさる	●三	己酉	四緑	大安	とる	畢	天恩日
十七獸	九五	廿二日	りのへん	四	庚戌	五黄	赤口	やぶる	觜	天恩日
十八甲	十六	廿三日	りのへん	五	辛亥	六白	先勝	あやう	參	天おん
十九貝	十一七	廿四日	とつね	六	壬子	七赤	友引	なる	井	八せん入
二十草	十二一	廿五日	とつね	七	癸丑	八白	先負	おさむ	鬼	母
廿一木	十三二	廿六日	きのこ	八	甲寅	九紫	佛滅	ひらく	柳	日よう
廿二虫	十四三	廿七日	さあへん	九	乙卯	一白	大安	とつ	星	地福日
廿三魚	十五四	廿八日	ひのくま	十	丙辰	二黒	赤口	たつ	張	吉祥日
廿四鳥	十六五	廿九日	ひのくま	十一	丁巳	三碧	先勝	のぞく	翼	五相傳
廿五獸	十七六	卅日	つちさる	十二	戊午	四緑	友引	みつ	軫	三りん亡

○晝間の長き極は六月十九日頃より廿五六日頃なり
○夜間の長き極は十二月十九日頃より廿五六日なり

母 倉

◎五月吉凶〔庚辰の月〕各星對照表（六日より
八白中宮）

神代曆	エリウス曆	グリゴリオ太陽曆	支那曆	九星六輝三眞八宿	備考
廿六甲十八	一	日つちのさ	十三己未	五黃先負	たいら角
廿七貝十九	二	日ろくさ	十四庚申	六白佛滅	さだむ亢
廿八草二十	三	日ろくとり	十五辛酉	七赤大安	こる氏
廿九木廿一	四	日ろくぬ	十六壬戌	八白赤口	やぶる房
卅虫廿二	五	日ろくと	十七癸亥	九紫先勝	あやう心
卅一魚廿三	六	日さろへね	十八甲子	九紫友引	なる尾

楓、無花果の植替、百花爛熳、吉野の葉櫻、八重櫻の花見に樂む

四一鳥廿四	七	日さのこ	十九乙丑	八白先負	おさむ箕
二獸廿五	八	日ひのへと	二十丙寅	七赤佛滅	ひらく斗
三甲廿六	九	日ひのと	廿一丁卯	六白大安	さつ女
四貝廿七	十	日つちのへと	廿二戊辰	五黃赤口	たつ虛
五草廿八	十一	日つちのと	廿三己巳	四綠先勝	のぞく危
六木廿九	十二	日ろくへと	廿四庚午	三碧友引	みつ室
七虫卅	十三	日ろくと	廿五辛未	二黑先負	たいら壁
八魚卅一	十四	日ろくと	廿六壬申	一白佛滅	さたむ奎

▲凡紫火星を犯すと眼病、熱病、逆上の病を患ふ

地福日 日よう 三りん亡 五相傳 月徳日

▲一白の日は三碧、四緑、六白、七赤の人大吉日なり進んで利徳あり

蛙鳴き初む、菜の花咲く、麥は實る、藤つつじ、牡丹卯の花盛り

九鳥	一	七	十五日	とろとろ	廿七	癸酉	九紫	大安	とる	妻	吉慶日
十獸	二	一	十六日	さくへいね	廿八	甲戌	八白	赤口	やぶる	胃	凶會日
十一甲	三	二	十七日	さめとろ	廿九	乙亥	七赤	先勝	あやう	昂	
十二貝	四	三	十八日	ひのくね	四一	丙子	六白	佛滅	あやう	畢	
十三草	五	四	十九日	ひのとじ	二	丁丑	五黄	大安	なる	替	親福日
十四木	六	五	二十日	つろへら	三	戊寅	四緑	赤口	おさむ	井	不成就日
十五虫	七	六	廿一日	つろとろ	四	己卯	三碧	先勝	ひらく	井	
十六魚	八	七	廿二日	つろへら	五	庚辰	二黑	友引	とつ	鬼	月徳日
十七鳥	九	八	廿三日	つろとろ	六	辛巳	一白	先負	たつ	柳	日よう
十八獸	十	九	廿四日	つろへら	七	壬午	九紫	佛滅	のぞく	星	
十九甲	十一	十	廿五日	つろとろ	八	癸未	八白	大安	みつ	張	吉祥日
二十貝	十二	九	廿六日	さめとろ	九	甲申	七赤	赤口	たいら	翼	五相傳
廿一草	十三	八	廿七日	さめとろ	十	乙酉	六白	先勝	さだむ	軫	十方ぐれ
廿二木	十四	七	廿八日	ひのくね	十一	丙戌	五黄	友引	とる	角	
廿三虫	十五	六	廿九日	ひのとろ	十二	丁亥	四緑	先負	やぶる	亢	三りん亡
廿四魚	十六	五	卅一日	つろへら	十三	戊子	三碧	佛滅	あやう	氏	日よう
廿五鳥	十七	四	卅二日	つろとろ	十四	己丑	二黑	大安	なる	房	

六日より
七赤中宮

農家は粟刈、大白瓜、馬鈴薯、茶摘で肥料をなす等なか／＼忙し

△三碧の日は一白、九紫の人大吉日なり萬事行ふ事とげべし

九魚	二	三	十五日	さめへら	廿九	甲辰	五	黄友引	とつ	膏	
十鳥	三	四	十六日	さめとこ	五	一乙巳	四	緑天安	とつ	參	
十一獸	四	五	十七日	ひめへら	二	丙午	三	碧赤口	たつ	井	
十二甲	五	六	十八日	ひめとら	三	丁未	二	黒先勝	のぞく	鬼	萬よし
十三貝	六	七	十九日	つちさる	四	戊申	一	白友引	みつ	柳	日よう
十四草	七	一	二十日	つちさる	五	己酉	九	紫先負	たいら	星	不成就日
十五木	八	二	廿一日	りのへら	六	庚戌	八	白佛滅	さだむ	張	五相傳
十六虫	九	三	廿二日	りのとら	七	辛亥	七	赤大安	とる	翼	げし

豊家は入梅より半夏生につづき田植やら蠶、繭、製茶に忙し

十七魚	十	四	廿三日	とつへら	八	壬子	六	白赤口	やぶる	軫	八せん入
十八鳥	十一	五	廿四日	とつへら	九	癸丑	五	黄先勝	あやう	角	
十九獸	十二	六	廿五日	きのとら	十	甲寅	四	緑友引	なる	亢	三りん亡
二十甲	十三	七	廿六日	さめとら	十一	乙卯	三	碧先負	おさむ	辰	母倉
廿一貝	十四	一	廿七日	ひめへら	十二	丙辰	二	黒佛滅	ひらく	房	日よう
廿二草	十五	二	廿八日	ひめとら	十三	丁巳	一	白大安	とつ	心	吉祥日
廿三木	十六	三	廿九日	つちさる	十四	戊午	九	紫赤口	たつ	尾	
廿四虫	十七	四	三十日	つちさる	十五	己未	八	白先勝	のぞく	箕	

○晝夜共に平等の頃は三月廿日前後と九月廿二日前後なり

◎七月吉凶「壬午の月」各星對照表(七日より六白中宮)

神代曆		ユリウス曆		グリゴリカ太陽曆		支那曆		九星六輝十二真八宿		備考	
廿五	魚	十八	5	一	日りのさち	十六	庚申	七赤友引	みつ	斗	備
廿六	鳥	十九	6	二	日ぬとり	十七	辛酉	六白先負	たいら	女	はんげ生
廿七	獸	二十	7	三	日ぬとりぬ	十八	壬戌	五黄佛滅	さだむ	虚	天開日
廿八	甲	廿一	1	四	日ぬとりぬ	十九	癸亥	四緑大安	さる	危	吉日
廿九	貝	廿二	2	五	日きろへね	二十	甲子	三碧赤口	やぶる	室	日よう
三十	草	廿三	3	六	日さぬとり	廿一	乙丑	二黒先勝	あやう	壁	母倉
六一	木	廿四	4	七	日ひぬとら	廿二	丙寅	一白友引	なる	奎	三りん亡
蟬啼き始める、椿竹の植替、花しようぶ、撫子花、薇薔、石生の根分に樂む											
二	虫	廿五	5	八	日ひぬとら	廿三	丁卯	九紫先負	おさむ	婁	五相傳
三	魚	廿六	6	九	日つちぬとら	廿四	戊辰	八白佛滅	ひらく	胃	
四	鳥	廿七	7	十	日つちぬとら	廿五	己巳	七赤大安	さつ	昂	
五	獸	廿八	1	十一	日ぬとらぬ	廿六	庚午	六白赤口	たつ	畢	初日よう
六	甲	廿九	2	十二	日ぬとらぬ	廿七	辛未	五黄先勝	のぞく	觜	吉日
七	貝	三十	3	十三	日ぬとらぬ	廿八	壬申	四緑友引	みつ	參	
八	草	一	4	十四	日ぬとらぬ	廿九	癸酉	三碧先負	たいら	井	

▲四緑の日は一白、九紫、の人萬事に進んで大によし

▲五黄の日は六白、七赤、九紫の人福德を享くる大吉日なり

螢は飛ぶ蚊發生す農家は灌水に注意す●(無き人の小袖も今や土用干)

九木	二五	十五日	さくへいね	三十	甲戌	二	黒佛滅	さだむ	鬼	天開日
十虫	三六	十六日	さくへいね	六一	乙亥	一	白赤口	さだむ	鬼	
十一魚	四七	十七日	ひのくね	二	丙子	九	紫先	さる	柳	●
十二鳥	五八	十八日	ひのくね	三	丁丑	八	白友引	やぶる	星	日よう
十三獸	●六二	十九日	ちのさう	四	戊寅	七	赤先負	あやう	張	
十四甲	七三	二十日	ちのさう	五	己卯	六	白佛滅	なる	翼	土用入
十五貝	八四	廿一日	くへいね	六	庚辰	五	黄大安	おさむ	軫	五相傳
十六草	九五	廿二日	くへいね	七	辛巳	四	緑赤口	ひらく	角	不成就日
十七木	十六	廿三日	くへいね	八	壬午	三	碧先勝	さつ	亢	三りん亡
十八虫	一七	廿四日	くへいね	九	癸未	二	黒友引	たつ	氏	
十九魚	一二	廿五日	さくへいね	十	甲申	一	白先負	のぞく	房	十方ぐれ
二十鳥	二三	廿六日	さくへいね	十一	乙酉	九	紫佛滅	みつ	心	日よう
廿一獸	三四	廿七日	ひのくね	十二	丙戌	八	白大安	たいら	尾	
廿二甲	四五	廿八日	ひのくね	十三	丁亥	七	赤赤口	さだむ	箕	吉祥日
廿三貝	五六	廿九日	ちのさう	十四	戊子	六	白先勝	さる	斗	●
廿四草	六七	三十日	ちのさう	十五	己丑	五	黄友引	やぶる	女	末伏
廿五木	七八	卅一日	くへいね	十六	庚寅	四	緑先負	あやう	虚	

○八月吉凶「癸未の月」各星對照表(八日より五黃中宮)

神代曆 ユリ・ヲ 曆		グリゴリヲ太陽曆		支那曆		九星六輝 土眞六宿		備考	
廿六	虫	十九	一	十七	辛卯	三碧	佛滅	なる	危
廿七	魚	二十	二	十八	壬辰	二黑	大安	おさむ	室
廿八	鳥	廿一	三	十九	癸巳	一白	赤口	ひらく	壁
廿九	獸	廿二	四	二十	甲午	九紫	先勝	さつ	奎
三十	甲	廿三	五	廿一	乙未	八白	友引	たつ	婁
卅一	貝	廿四	六	廿二	丙申	七赤	先負	のぞく	胃
七	草	廿五	七	廿三	丁酉	六白	佛滅	みつ	昂
農家は大豆、秋蕎麥の培養、青田見巡等に忙し (一日の差)									
二	木	廿六	八	廿四	戊戌	五黃	大安	たいら	畢
三	虫	廿七	九	廿五	己亥	四綠	赤口	さだむ	觜
四	魚	廿八	十	廿六	庚子	三碧	先勝	さる	參
五	鳥	廿九	十一	廿七	辛丑	二黑	友引	やぶる	井
六	獸	三十	十二	廿八	壬寅	一白	先負	あやう	鬼
七	甲	卅一	十三	廿九	癸卯	九紫	佛滅	なる	柳
八	貝	一	十四	卅一	甲辰	八白	先勝	なる	張母
萬大吉									

▲六白の日は一白、二黒、五黃、八白の人大吉なり物に進んで利徳あり

▲七赤の日は一白、二黒、五黄、八白の人大吉日なり、穢事叶ふべし

九草	二	一	十五	日	き	あ	こ	二	乙	巳	七	赤	友	引	お	さ	む	翼	日	よう	
十木	三	二	十六	日	ひ	の	う	ま	三	丙	午	六	白	先	負	ひ	ら	く	軫	不成就日	
十一虫	四	三	十七	日	ひ	の	と	み	四	丁	未	五	黄	佛	滅	さ	つ	角			
十二魚	五	四	十八	日	つ	ち	さ	る	五	戊	申	四	緑	大	安	た	つ	亢	天社日		
十三鳥	六	五	十九	日	つ	ち	さ	る	六	己	酉	三	碧	赤	口	の	ぞ	氏			
十四獸	七	六	二十	日	り	の	へ	ね	七	庚	戌	二	黒	先	勝	み	つ	房			
十五甲	八	七	廿一	日	り	の	と	あ	八	辛	亥	一	白	友	引	た	い	心	五相傳 三リン亡		
十六貝	九	一	廿二	日	と	の	ね		九	壬	子	九	紫	先	負	さ	だ	尾	八せん入		
朝顔、蓮、夕顔、月見に樂む農家は二百十日の厄日の無事を祈る(一日の差)																					
十七草	十	二	廿三	日	と	の	う	じ	十	癸	丑	八	白	佛	滅	さ	る	箕			
十八木	十一	三	廿四	日	き	の	む	ら	十一	甲	寅	七	赤	大	安	や	ぶ	斗			
十九虫	十二	四	廿五	日	き	の	と	う	十二	乙	卯	六	白	赤	口	あ	や	女			
二十魚	十三	五	廿六	日	ひ	の	へ	う	十三	丙	辰	五	黄	先	勝	な	る	虚	母	倉	
廿一鳥	十四	六	廿七	日	ひ	の	と	と	十四	丁	巳	四	緑	友	引	お	さ	危			
廿二獸	十五	七	廿八	日	つ	ち	さ	る	十五	戊	午	三	碧	先	負	ひ	ら	室			
廿三甲	十六	一	廿九	日	つ	ち	さ	る	十六	己	未	二	黒	佛	滅	さ	つ	壁	日	よう	
廿四貝	十七	二	三十	日	り	の	さ	う	十七	庚	申	一	白	大	安	た	つ	奎	天	和	日
廿五草	十八	三	卅一	日	と	の	と	り	十八	辛	酉	九	紫	赤	口	の	ぞ	婁			

▲日りの出入月の出入晝夜長短等委しくは曆にて知るべし

●九月吉凶「甲申の月」各星對照表（八日より四緑中宮）

神代曆	ユリウス曆	グリゴリア太陽曆	支那曆	九星六輝	土真八宿	備考
廿六木十九	四	一日	壬戌	八白先勝	みつ	胃二百十日
廿七虫二十	五	二日	癸亥	七赤友引	たいら	昂三りん亡
廿八魚廿一	六	三日	甲子	六白先負	さだむ	畢
廿九鳥廿二	七	四日	乙丑	五黄佛滅	さる	觜
三十獸廿三	八	五日	丙寅	四緑大安	やぶる	參
一甲廿四	九	六日	丁卯	三碧赤口	おやう	井
						五相傳 日よう

●陽雁飛び来る燕は歸る農家は小かぶ三河島菜夏葱を培養す（二日の差）

二貝廿五	三	七日	戊辰	二黒先勝	なる	鬼	母
三草廿六	四	八日	己巳	一白友引	なさむ	柳	倉
四木廿七	五	九日	庚午	九紫先負	ひらく	星	
五虫廿八	六	十日	辛未	八白佛滅	さつ	張	
六魚廿九	七	十一日	壬申	七赤大安	たつ	翼	
七鳥三十	八	十二日	癸酉	六白友引	たつ	角	日よう
八獸三十一	九	十三日	甲戌	五黄先負	のぞく	亢	母
九甲三十二	十	十四日	乙亥	四緑佛滅	みつ	氏	

▲八白の日は六白、七赤、九紫の人大吉日なり幸福を享くる日なり

▲九紫の日は二黒、三碧、四緑、五黄の人大吉日なり福恵を得る日なり

十具	三	四	十五日ひのくね	四	丙子	三碧	大安	たいら	辰		
十一草	四	五	十六日ひのくね	五	丁丑	二黒	赤口	さだむ	心	社	
十二木	五	六	十七日つちのへら	六	戊寅	一白	先勝	さる	尾	三りん亡	
十三虫	六	七	十八日つちのへら	七	己卯	九紫	友引	やるぶ	箕	日よう	
十四魚	七	八	十九日つちのへら	八	庚辰	八白	先負	あやう	斗	五相傳	
十五鳥	八	九	二十日つちのへら	九	辛巳	七赤	佛滅	なる	女	ひがん入	
十六獸	九	十	廿一日つちのへら	十	壬午	六白	大安	おさむ	虚		

一葉落て秋を知る、水仙、櫻草の根分、菊の花郊外にきのこ狩を樂む(二日)

十七甲	十	四	廿二日つちのへら	十一	癸未	五黄	赤口	ひらく	危		
十八貝	十一	五	廿三日さのこら	十二	甲申	四緑	先勝	さつ	室	十方ぐれ	
十九草	十二	六	廿四日さのこら	十三	乙酉	三碧	友引	たつ	壁		
二十木	十三	七	廿五日ひのくね	十四	丙戌	二黒	先負	のぞく	奎	母倉	
廿一虫	十四	一	廿六日ひのくね	十五	丁亥	一白	佛滅	みつ	婁	日よう	
廿二魚	十五	二	廿七日つちのへら	十六	戊子	九紫	大安	たいら	胃	準社	
廿三鳥	十六	三	廿八日つちのへら	十七	己丑	八白	赤口	さだむ	昂	三りん亡	
廿四獸	十七	四	廿九日つちのへら	十八	庚寅	七赤	先勝	さる	畢	五相傳	
廿五甲	十八	五	三十日つちのへら	十九	辛卯	六白	友引	やぶる	觜		

注意 年月、日、刻の吉凶を用ゆる人は本書各對照して自分の信する一を用い他に迷ふ可からず

◎十月吉凶〔乙酉の月〕各星對照表（九日より）
（三碧中宮）

神代曆 ユリウス曆		グリゴリオ太陽曆		支那曆	九星六輝	土真八宿	備考
廿六	貝十九	六	一日	壬辰	五黃	先負	あやう参
廿七	草二十	七	二日	癸巳	四綠	佛滅	なる井
廿八	木廿一	一	三日	甲午	三碧	大安	をさむ鬼
廿九	虫廿二	二	四日	乙未	二黑	赤口	ひらく柳
三十	魚廿三	三	五日	丙申	一白	先勝	とつ星
九一	鳥廿四	四	六日	丁酉	九紫	友引	たつ張
農家は黄稻野に満ち收納に忙しく又京菜、二年子大根を培養す（三日の差）							
二	獸廿五	五	七日	戊戌	八白	先負	のぞく翼
三	甲廿六	六	八日	己亥	七赤	佛滅	みつ軫
四	貝廿七	七	九日	庚子	六白	大安	たいら角
五	草廿八	一	十日	辛丑	五黃	赤口	さだむ亢
六	木廿九	二	十一日	壬寅	四綠	先勝	さる氏
七	虫三十	三	十二日	癸卯	三碧	先負	さる氏
八	魚	●一	十三日	甲辰	二黑	佛滅	やぶる房
九	鳥	二	十四日	乙巳	一白	大安	あやう心
							五相傳

▲大安、先勝、先負、佛滅、天社日、天恩、大明、母倉、月徳、甲、貝、草木の日は萬よし

▲年、月、日、時の方位吉凶を用ゆるは第二六輝第三九星以下信する者一つを採れ

十 獸	三 6	十五日	みへるま	四 丙	午	九 紫	赤口	なる	尾	三りん亡	倉
十一 甲	四 7	十六日	みへるま	五 丁	未	八 白	先勝	おさむ	箕	母	
十二 貝	五 1	十七日	つちさう	六 戊	申	七 赤	友引	ひらく	斗	天祖日	
十三 草	六 2	十八日	つちさう	七 己	酉	六 白	先負	さつ	女	月徳日	
十四 木	七 3	十九日	りへるね	八 庚	戌	五 黄	佛滅	たつ	虚		
十五 虫	八 4	二十日	りへるね	九 辛	亥	四 緑	大安	のぞく	危		
十六 魚	九 5	廿一日	とるへね	十 壬	子	三 碧	赤口	みつ	室	八さん入	

農家は小麦、小麥、裸麥、夏午莠、人參の種蒔等に忙し

(三日の差)

十七 鳥	十 6	廿二日	とるへる	十一 癸	丑	二 黒	先勝	たいら	壁	神集日	
十八 獸	十一 7	廿三日	さくへる	十二 甲	寅	一 白	友引	さたむ	奎		
十九 甲	十二 1	廿四日	さくへる	十三 乙	卯	九 紫	先負	さる	婁	日よう	
二十 貝	十三 2	廿五日	ひへる	十四 丙	辰	八 白	佛滅	やぶる	胃	五相傳	
廿一 草	十四 3	廿六日	ひへる	十五 丁	巳	七 赤	大安	あやう	昂	母倉	
廿二 木	十五 4	廿七日	つちさう	十六 戊	午	六 白	赤口	なる	畢	三りん亡	
廿三 虫	十六 5	廿八日	つちさう	十七 己	未	五 黄	先勝	なさむ	觜	天徳日	
廿四 魚	十七 6	廿九日	りへる	十八 庚	申	四 緑	友引	ひらく	參		
廿五 鳥	十八 7	三十日	りへる	十九 辛	酉	三 碧	先負	さつ	井		
廿六 獸	十九 1	卅一日	とるへる	二十 壬	戌	二 黒	佛滅	たつ	鬼	日よう	

○十一月吉凶【丙戌の月】各星對照表(八日より二黒中宮)

神代曆		ユリウス曆		グリゴリオ太陽曆		支那曆		九星六輝十二真八宿		備考	
廿七	甲	二十	2	一	日	癸亥	一白	大安	のぞく	柳	近福日
廿八	貝	廿一	3	二	日	甲子	一白	赤口	みつ	星	甲子
廿九	草	廿二	4	三	日	乙丑	二黒	先勝	たいら	張	地福日
三十	木	廿三	5	四	日	丙寅	三碧	友引	さだむ	翼	
卅一	虫	廿四	6	五	日	丁卯	四緑	先負	さる	軫	
十一	魚	廿五	7	六	日	戊辰	五黄	佛滅	やぶる	角	
櫻、柿、芍薬、桃の植替、寒菊の根分、牡丹等接木挿木に樂む(二日の差)											
二	鳥	廿六	1	七	日	己巳	六白	大安	あやう	亢	母 <small>倉</small>
三	獸	廿七	2	八	日	庚午	七赤	赤口	なる	氏	三りん亡
四	甲	廿八	3	九	日	辛未	八白	先勝	をさむ	房	
五	貝	廿九	4	十	日	壬申	九紫	友引	ひらく	心	
六	草	三十	5	十一	日	癸酉	一白	佛滅	ひらく	心	五相傳
七	木	卅一	6	十二	日	甲戌	二黒	大安	さつ	尾	三りん亡
八	虫	一	7	十三	日	乙亥	三碧	赤口	たつ	箕	五相傳
九	魚	二	1	十四	日	丙子	四緑	先勝	のぞく	斗	不成就日

▲五相傳の日は何事にも注意すべし(悪日故特に注意すあり)

▲其人の星の向ふ方を的殺と云ふ、相生する星の重し居る方を吉方と云ふ

十鳥	三	二	十三日ひのとじ	五丁丑五黄友引みつ女	
十一獸	四	三	十六日つちのうら	●六戊寅六白先負たいら	虚
十二甲	五	四	十七日つちのうら	七己卯七赤佛滅さだむ	危
十三貝	六	五	十八日つちのうら	八庚辰八白大安さる	室
十四草	七	六	十九日つちのうら	九辛巳九紫赤口やぶる	壁
十五木	八	七	二十日つちのうら	十壬午一白先勝あやう	奎
十六虫	九	八	廿一日つちのうら	十一癸未二黒友引なる	婁
水は結れ氷と成る、農家は収獲の最中、蠶豆水菜の種蒔に忙し(二日の差)					
十七魚	●十	二	廿二日さのさる	十二甲申三碧先負おさむ	胃
十八鳥	十一	三	廿三日さのさる	十三乙酉四緑佛滅ひらく	昂
十九獸	十二	四	廿四日ひのとじ	十四丙戌五黄大安さつ	畢
二十甲	十三	五	廿五日ひのとじ	十五丁亥六白赤口たつ	觜
廿一貝	十四	六	廿六日つちのうら	十六戊子七赤先勝のぞく	參
廿二草	十五	七	廿七日つちのうら	十七己丑八白友引みつ	井
廿三木	十六	八	廿八日つちのうら	十八庚寅九紫先負たいら	鬼
廿四虫	十七	九	廿九日つちのうら	十九辛卯一白佛滅さだむ	柳
廿五魚	十八	三	三十日つちのうら	二十壬辰二黒大安さる	星

注意

九星に因る各自の月々の運命吉凶、廿八宿の吉凶四季の晴雨各自の性質の良否、家相地相其他委しくは本堂發行の九星方位吉凶日割かが、を實求知らるべし

●十二月吉凶【丁亥の月】各星對照表（七日より）
（一白中宮）

神代曆		ユリウス曆		グリゴリオ太陽曆		支那曆		九星六輝十二真八宿		備考	
廿六	鳥	十九	四	一	日	癸巳	三碧	赤口	やぶる	張	天一天上
廿七	獸	二十	五	二	日	甲午	四綠	先勝	あやう	翼	
廿八	甲	廿一	六	三	日	乙未	五黃	友引	なる	軫	
廿九	貝	廿二	七	四	日	丙申	六白	先負	おさむ	角	母倉
三十	草	廿三	一	五	日	丁酉	七赤	佛滅	ひらく	亢	日よう
十一	木	廿四	二	六	日	戊戌	八白	大安	とつ	氐	
二	虫	廿五	三	七	日	己亥	九紫	赤口	たつ	房	三りん亡
三	魚	廿六	四	八	日	庚子	一白	先勝	のぞく	心	
四	鳥	廿七	五	九	日	辛丑	二黑	友引	みつ	尾	
五	獸	廿八	六	十	日	壬寅	三碧	大安	みつ	箕	三りん亡
六	甲	廿九	七	十一	日	癸卯	四綠	赤口	たいら	斗	五相傳
七	貝	三十	八	十二	日	甲辰	五黃	先勝	さたむ	女	日よう
八	草	一	九	十三	日	乙巳	六白	友引	さる	虚	
九	木	二	十	十四	日	丙午	七赤	先負	やぶる	危	不成就日

雪愈々多くなる、農家は葱、蕪を収納、豌豆、麥の肥料に注意す（一日の差）

▲五黄の日と五黄の廻りし方位と向ふ所は戸締等よく注意すべし

▲五黄と暗劔を用ゆる人は甲を第一とし次に月日癸と知り用ゆべし

十虫	三	四	十五日ひのくち	六丁未	八白佛滅	あやう	室	
十一魚	四	五	十六日つちのき	七戌申	九紫大安	なる	壁	母倉
十二鳥	五	六	十七日つちのき	八己酉	一白赤口	おさむ	奎	出行凶
十三獸	六	七	十八日りのけ	九庚戌	二黒先勝	ひらく	胃	
十四甲	七	八	十九日りのけ	十辛亥	三碧友引	さつ	昂	日よう
十五貝	八	九	二十日みのね	十一壬子	四緑先負	たつ	畢	八せん入
十六草	九	十	廿一日みのね	十二癸丑	五黄佛滅	のぞく	觜	
十七木	十	十一	廿二日きのこ	十三甲寅	六白大安	みつ	參	三りん亡
十八虫	十一	十二	廿三日きのこ	十四乙卯	七赤赤口	たいら	井	凶會日
十九魚	十二	十三	廿四日ひのくち	十五丙辰	八白先勝	さだむ	鬼	神集日
二十鳥	十三	十四	廿五日ひのくち	十六丁巳	九紫友引	さる	柳	
廿一獸	十四	十五	廿六日つちのき	十七戊午	一白先負	やぶる	星	日よう
廿二甲	十五	十六	廿七日つちのき	十八己未	二黒佛滅	あやう	張	
廿三貝	十六	十七	廿八日りのけ	十九庚申	三碧大安	なる	翼	母倉
廿四草	十七	十八	廿九日りのけ	二十辛酉	四緑赤口	おさむ	軫	五相傳
廿五木	十八	十九	三十日みのね	廿一壬戌	五黄先勝	ひらく	角	
廿六虫	十九	二十	卅一日みのね	廿二癸亥	六白友引	さつ	亢	歳徳日

晝間短き極、此の日より段々夜る短くなる、至冬團子、牡丹餅を作て祝ふ

二十眞之吉凶辨

とる	さだむ	たいら	みつ	のぞく	たつ
人より物をさるに よき日なりこの日 人にわたすには用 ゆべからず	五こくなりばじま る日なりたれまき こんれい井ほり萬 事定むるによし	よしあしきもいた いらかにしつかた り萬事だんこうき はむるによし	神まつりやつくり わたましこんれい 元ぶくたれまき土 を動かす事によし	萬事よける心なり よしやあるべきも のをすてる又すは き等はよし	やつくりわたまし 何事もとりかゝる ことにつかひてよ き日なり
とつ	ひらく	おさむ	なる	あやう	やぶる
やまひごさなりば じまる日也はかを たつことによし其 がはいむべし	くらひらきこんれ いやどがへしんた くひらきによし	五こくをおさめ神 佛へ物をおさめく ら入すべて物をお さむるによし	人のなりはじめの 日なり元ぶくこん れいたれまきはじ らたてによし	もの事あやうき日 なり何事にも用ゆ べからず	萬事やぶるる日也 つもしみひかへめ にしてよしいひや ぶる事にはよし
廿一草	卅一貝	三十甲	廿九獸	廿八鳥	廿七魚
廿五	廿四	廿三	廿二	廿一	二十
五	四	三	二	一	
六	五	四	三	二	一
日つちのこ	日つちのこ	日つちのこ	日つちのこ	日つちのこ	日つちのこ
廿八己巳	廿七戊辰	廿六丁卯	廿五丙寅	廿四乙丑	廿三甲子
三碧友引さる斗	二黒先勝さだむ箕	一白赤口たひら尾	九紫大安みつ心	八白佛滅のぞく房	七赤先負たつ氏
	天開日		三りん亡	日よう	延命日

注意 八品、廿八宿、六輝、九星の解を委く知たる人は本堂發行の九星方位を見よ

胃腸？脚氣？最新藥（ジゲスチン）日本及歐米

關西一手販賣

豐橋市
紺屋町

加藤順精堂

（複方ジゲス）拾三ヶ國專賣特許
（振替口座東京 四一三九三番）

大正九年庚申本命九星干支納音表

下元始

上元始

甲 きのへ

天保五年弘化元年安政元年元治元年明治七年明治十七明治廿七年明治卅年大正三年
午八十七辰七十七寅六十七子五十七戌四十七申三十七午二十七辰十七寅七歲
四綠木三碧木二黑土一白水九紫火八白土七赤金六白金五黄土

乙 きのと

同六年生同二年生同二年生應應元年同八年生同十八年同廿八年同三十八年同四十八年
未八十六巳七十六卯六十六丑五十六亥四十六酉三十六未二十六巳十六卯十六辰五歲
三碧木二黑土一白水九紫火八白土七赤金六白金五黄土四綠木

丙 ひのへ

同七年生同三年生同三年生同二年生同九年生同十九年同廿九年同三十九年同四十九年
申八十五午七十五辰六十五寅五十五子四十五戌三十五申二十五午十五辰五歲
二黑土一白水九紫火八白土七赤金六白金五黄土四綠木三碧木

丁 ひのと

同八年生同四年生同四年生同三年生同十年生同二十年同三十同四十年同五十年
酉八十四未七十四巳六十四卯五十四丑四十四癸三十四辛亥二十四未十四辰十四
一白水九紫火八白土七赤金六白金五黄土四綠木三碧木二黑土

山下天河水砂中土爐中火潤下水屋土山下火天河水砂中土

▲地相、家相、病氣、姓名の良否、災害其他人事百般實費鑑定に應ず（著者）

つちのへ 戊	つちのこ 己	かのへ 庚	かのこ 辛	みづのへ 癸	みづのこ 壬
<p>同九年生 嘉永元年 同五年生 明治元年 同十一年 同廿一年 同三十一 同四十一 同五十一 同六十一 同七十一 同八十一 同九十一 同百一</p> <p>戌八十三 申七十三 午六十三 辰五十三 寅四十三 子三十三 戌二十三 申十三 午三 子</p> <p>九紫火 八白土 七赤金 六白金 五黄土 四綠木 三碧木 二黑土 一白水</p>	<p>平地木 大驛土 天上火 大森木 城頭土 霹靂火 平地木 大驛土 天上火</p> <p>同十年生 同十二年 同十六年 同二十年 同二十四年 同廿八年 同三十二年 同三十六年 同四十年 同四十四年 同四十八年 同五十二年 同五十六年 同六十年 同六十四年 同六十八年 同七十二年 同七十六年 同八十年 同八十四年 同八十八年 同九十二年 同九十六年 同百</p> <p>亥八十二 酉七十二 未六十二 巳五十二 卯四十二 丑三十二 亥二十二 酉十二 未二 子</p> <p>八白土 七赤金 六白金 五黄土 四綠木 三碧木 二黑土 一白水</p>	<p>同十一年生 同十三年 同十七年 同二十一年 同廿五年 同廿九年 同三十三年 同三十七年 同四十一年 同四十五年 同四十九年 同五十三年 同五十七年 同六十一 同六十五 同六十九 同七十三 同七十七 同八十一 同八十五 同八十九 同九十三 同九十七 同百一</p> <p>子八十一 戌七十一 申六十一 午五十一 卯四十一 丑三十一 亥二十一 酉十一 未一 子</p> <p>七赤金 六白金 五黄土 四綠木 三碧木 二黑土 一白水</p>	<p>壁土 土 釵釧金 柘榴木 路傍土 白蠟金 松柏木 壁土 土 釵釧金 柘榴木</p> <p>同十二年生 同十四年 同十八年 同廿二年 同廿六年 同三十 同三十四年 同三十八年 同四十二年 同四十六年 同五十 同五十四年 同五十八年 同六十二年 同六十六年 同七十 同七十四年 同七十八年 同八十二年 同八十六年 同九十 同九十四年 同九十八年 同百二</p> <p>丑八十 亥七十 酉六十 未五十 巳四十 卯三十 丑二十 亥十 子</p> <p>六白金 五黄土 四綠木 三碧木 二黑土 一白水</p>	<p>同十三年生 同十五年 同十九年 同廿三年 同廿七年 同三十一年 同三十五年 同三十九年 同四十二年 同四十六年 同五十 同五十四年 同五十八年 同六十二年 同六十六年 同七十 同七十四年 同七十八年 同八十二年 同八十六年 同九十 同九十四年 同九十八年 同百二</p> <p>寅七十九 子六十九 戌五十九 申四十九 午三十九 辰二十九 寅十九 子九 戌</p> <p>五黄土 四綠木 三碧木 二黑土 一白水 九紫火 八白土 七赤金</p>	<p>金箔金 桑柘木 大海水 釵釧金 楊柳木 長流水 金箔金 桑柘木</p> <p>同十四年生 同十六年 同二十年 同廿四年 同廿八年 同三十二年 同三十六年 同四十 同四十四年 同四十八年 同五十二年 同五十六年 同六十 同六十四年 同六十八年 同七十二年 同七十六年 同八十 同八十四年 同八十八年 同九十二年 同九十六年 同百</p> <p>卯七十八 丑六十八 亥五十八 酉四十八 未三十八 巳二十八 卯十八 丑八 戌</p> <p>四綠木 三碧木 二黑土 一白水 九紫火 八白土 七赤金 六白金</p>

版 權 所 有

大正八年二月十九日印刷
大正八年二月廿三日發行

定價 金十錢

東京府下淀橋町角筈新町五十二番地

著作兼發行人 神宮寺菊之助

愛知縣豐橋市大手通紺屋町十七番地

印刷人兼發行所 加藤順堂 (東京四二三番)

大坂市南區松屋町三七

特約發賣店 西川商店 (電話南四六四)

不許

複製

注意

本書は斯界に於ける學術研究資料の目的を以て内務省警保局に届け出で御認可を得て著作権を有したる者なれば他人若し類似の著作を爲したる時は著作権法に據り發行者及び販賣者共に該物品を差押へらると同時に五十圓以上五百圓以下の罰金に處せらるべし

注意……本書には總ての問合せ及鑑定は發行所へ照會せらるべし(著者)